

# *INTER COOLER* Chemical Shine **CS**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

## 取 付 説 明 書

**JZZ30 SOARER**

マイナー後

# **BLITZ**

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

### お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

### 装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：TOYOTA SOARER
- 型 式：JZZ30
- エンジン：1JZ-GTE
- 年 式：1996年8月～2001年4月
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
- 製品番号：13121

### 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

### はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

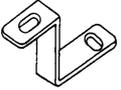
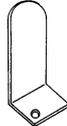
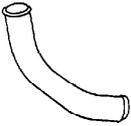
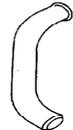
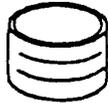
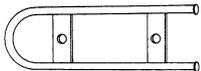
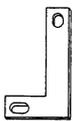
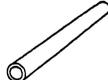
### 重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

### 取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インタークーラーASSY	アップースターR	アップースターL	アンダースター
 1	 1	 1	 1
エアコンチューブステー	外気センサーステー	リザーバータンクステー	インテークパイプNo.1
 1	 1	 1	 1
インテークパイプNo.2	インテークパイプNo.3	インテークパイプNo.4	
 1	 1	 1	
異型ホースφ60-φ70	異型ホースφ70-φ80	シリコンホースφ70用	クランプφ80用
 1	 2	 3	 2
クランプφ70用	クランプφ60用	クランプφ10用	パワステクーラー
 9	 1	 4	 1
ステーA	ステーB	リザーバータンク	パワステホースφ10
 1	 1	 1	 1
タイラップ	ボルトM8×25	ボルトM8×15	M8ナット
 10	 2	 5	 4
ボルトM6×25	ボルトM6×15		
 1	 1		

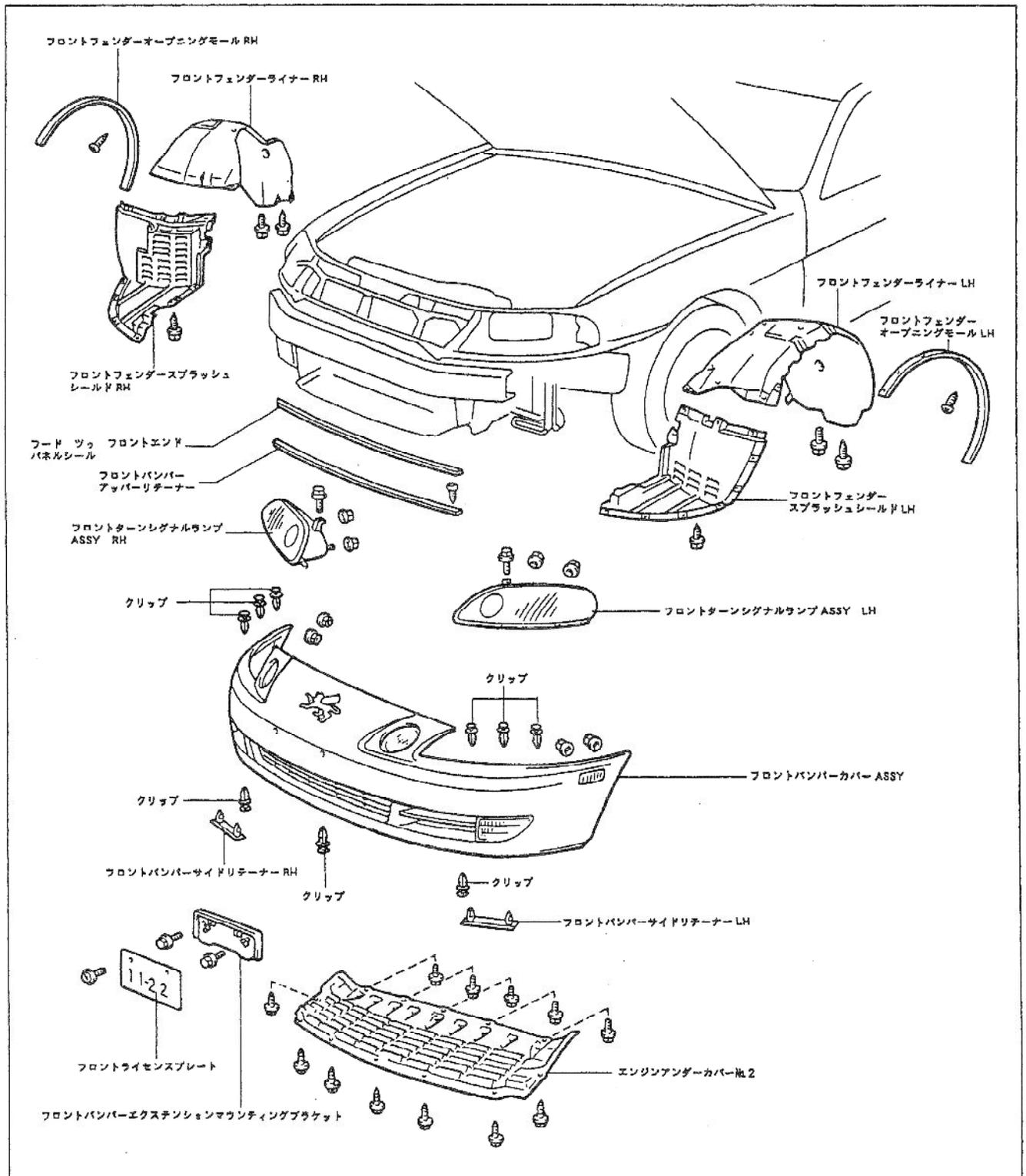
# JZZ30 SOARER I/CKIT 組み付け作業手順

作業の方へお願い！

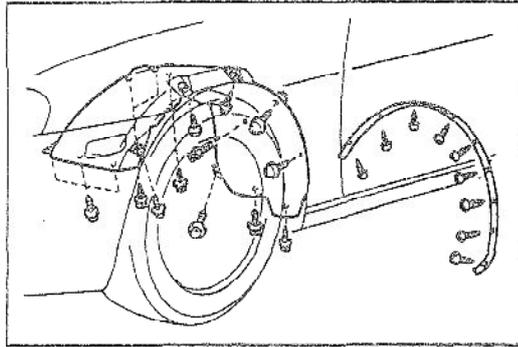
□作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

## ＜ノーマルパーツ取り外し＞

脱着構成図



★ まず、バッテリーのマイナスターミナルを取り外し、バッテリー・バッテリーインシュレーター・バッテリーを車両より取り出した後、以下の手順に従って下さい。



#### フロントバンパー取りはずし

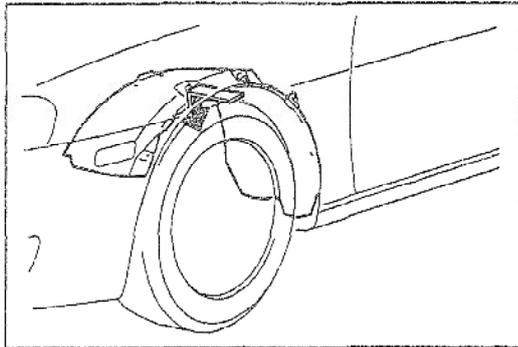
1 フロントフェンダーオープニングモール RH および LH 取りはずし

(1) スクリュー9本をはずし、オープニングモールを取りはずす。

2 フロントフェンダーライナー RH および LH 取りはずし

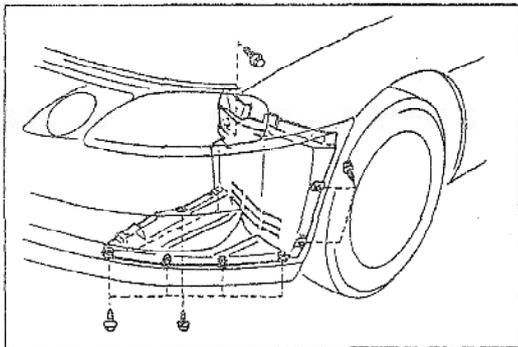
(1) ボルト2本およびスクリュー13本を取りはずす。

(2) フェンダーライナーを車両内側へ押しながら下方へ下げて取りはずす。



3 フロントフェンダースブラッシュシールド RH および LH 取りはずし

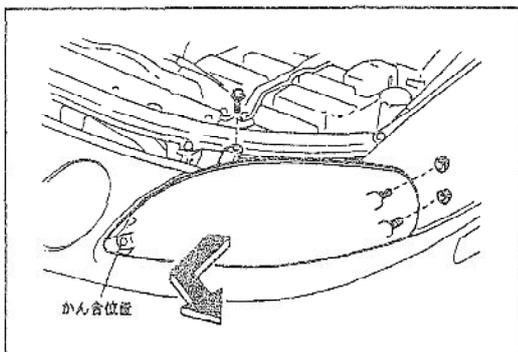
(1) ボルトおよびスクリュー9本をはずし、スブラッシュシールドを取りはずす。



4 フロントターンシグナルランプ ASSY RH および LH 取りはずし

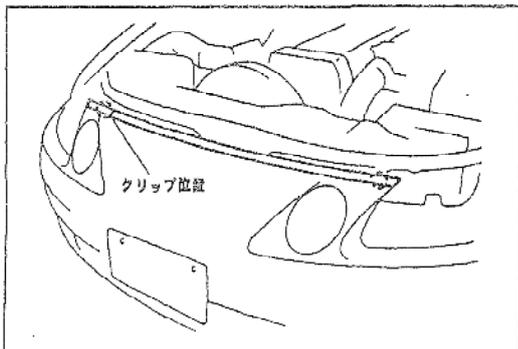
(1) ボルトおよびナット2個を取りはずす。

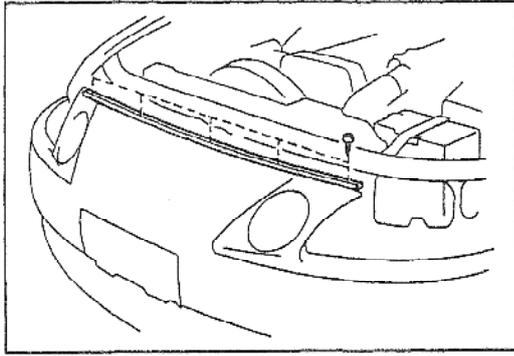
(2) かん合をはずしてコネクターを切り離し、ランプ ASSY を図の方向に動かして取りはずす。



5 フード ツウ フロントエンドパネルシール取りはずし

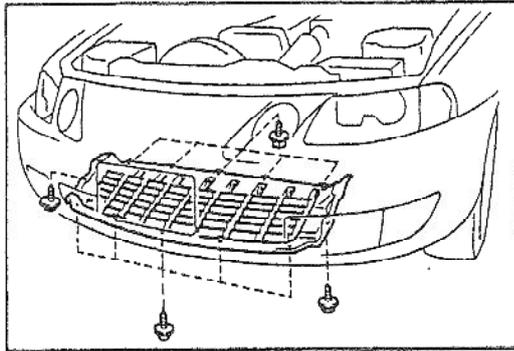
(1) クリップリムーバーを使用してクリップのかん合をはずし、エンドパネルシールを取りはずす。





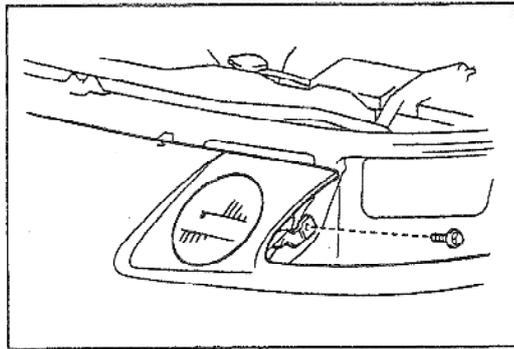
6 フロントバンパーアッパーリテーナー取りはずし

- (1) スクリュー5本をはずし、アッパーリテーナーを取りはずす。



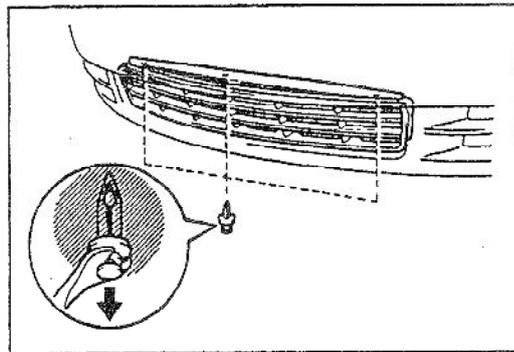
7 エンジンアンダーカバーNo.2取りはずし

- (1) ボルト5本およびスクリュー7本をはずし、アンダーカバーNo.2を取りはずす。

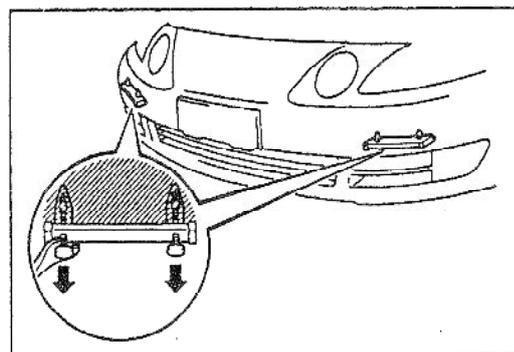


8 フロントライセンスプレート取りはずし

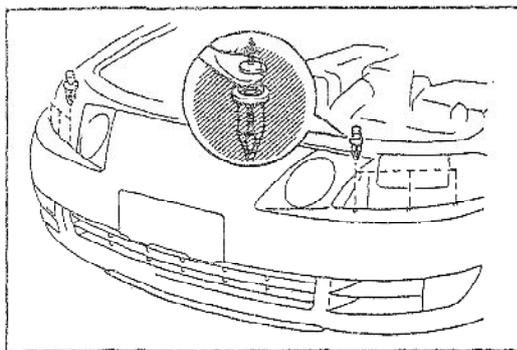
9 フロントバンパーエクステンションマウンティングブラケット取りはずし



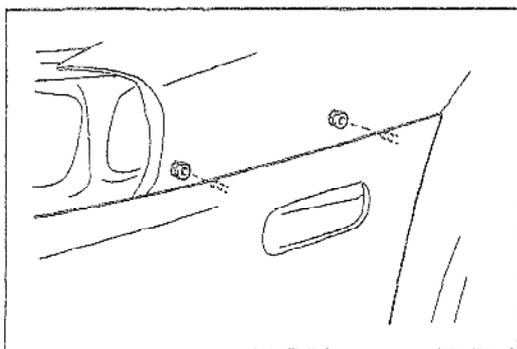
- (2) クリップリムーバーを使用してセンターローワーリテーナー部のクリップ3個を取りはずす。



- (3) クリップリムーバーを使用してフロントバンパーサイドリテーナー RH および LH を取りはずす。



(4) クリップリムーバーを使用してフロントバンパー上面のクリップ6個を取りはずす。

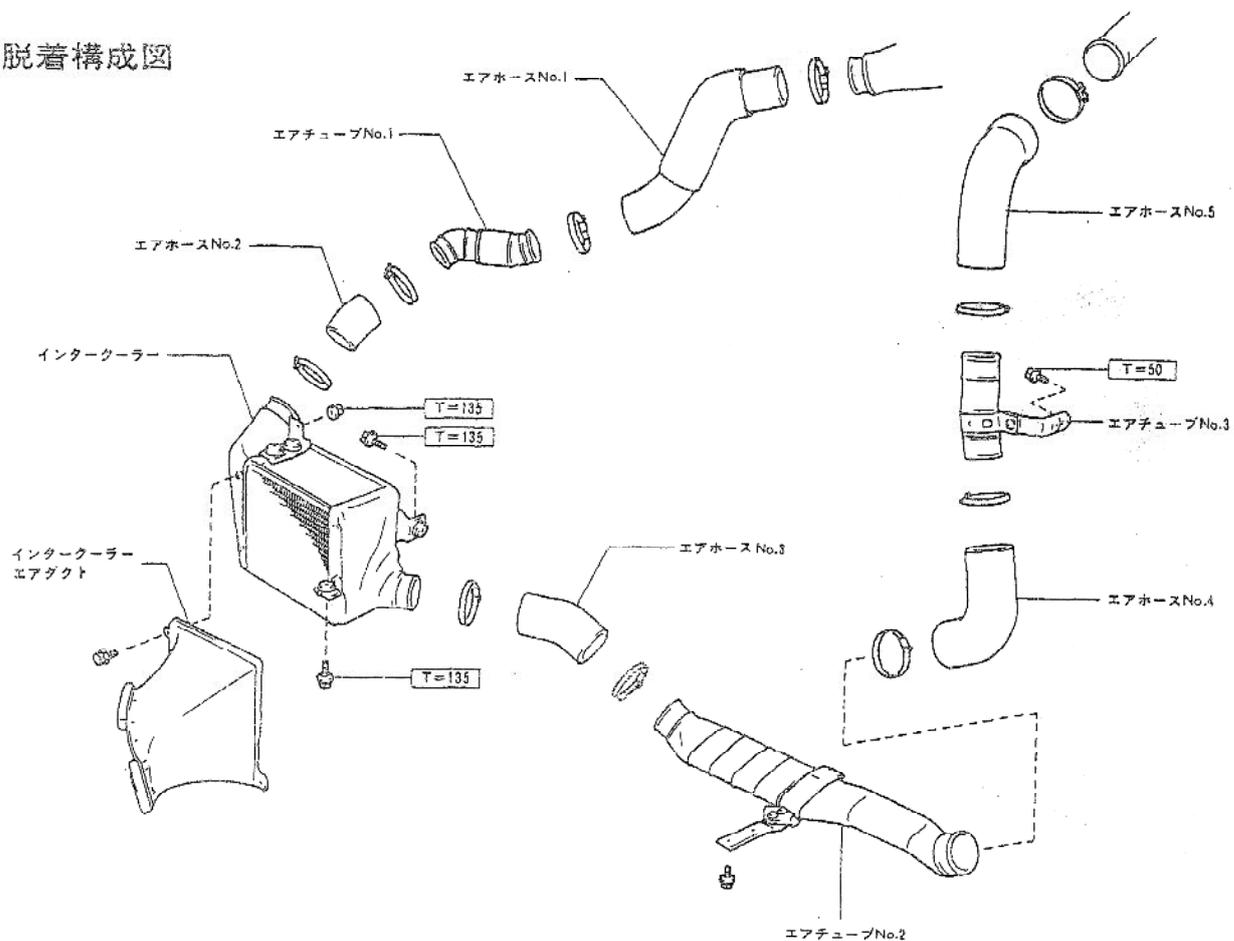


(5) ナット4個を取りはずす。

(6) 各コネクターを切り離し、フロントバンパーカバー ASSY を取りはずす。

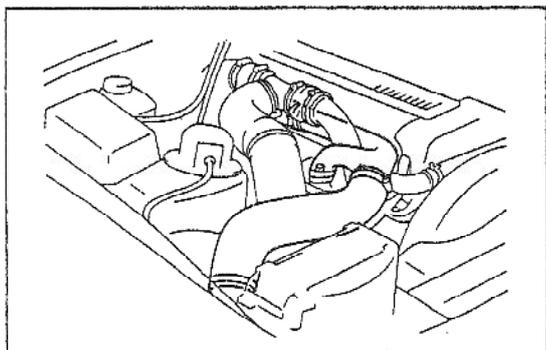
## インタークーラー

### 脱着構成図

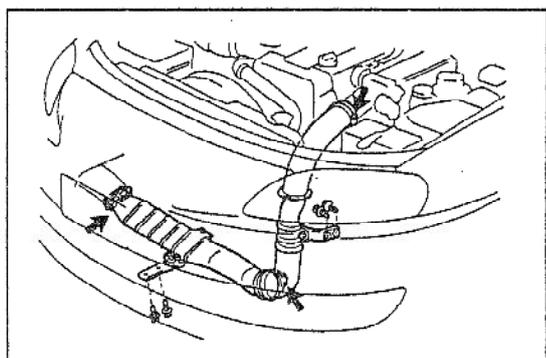


## インタークーラー取りはずし

- 1 右フロントホイール取りはずし
- 2 アンダーカバー取りはずし
- 3 フロントフェンダースブラッシュフィールドRH取りはずし

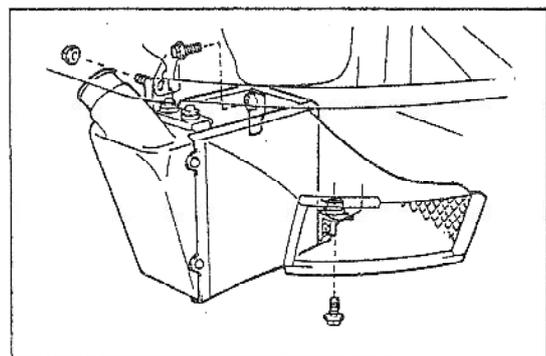


- 4 エアホースNo.1取りはずし



- 5 エアチューブNo.2, No.3 W/エアホース取りはずし  
(1) ボルト4本およびクランプをはずし、エアチューブNo.2, No.3 W/エアホースを取りはずす。

- 6 エアチューブNo.1 W/エアホース取りはずし
- 7 エアホースNo.3取りはずし

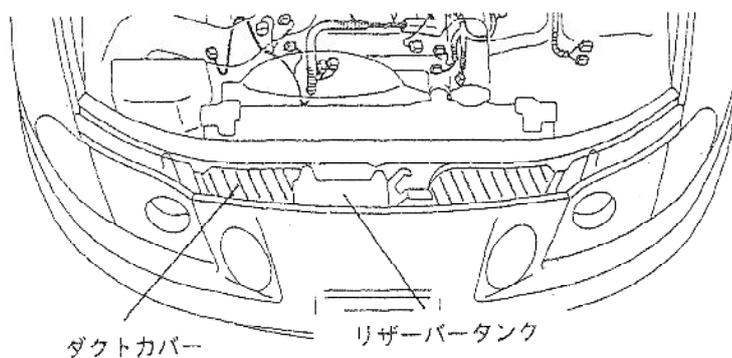


- 8 インタークーラー取りはずし  
(1) ボルト2本およびナット1個をはずし、インタークーラーを取りはずす。
- 9 インタークーラーエアダクト取りはずし

◆リザーバータンク及びパワステクーラーチューブ取り外し◆

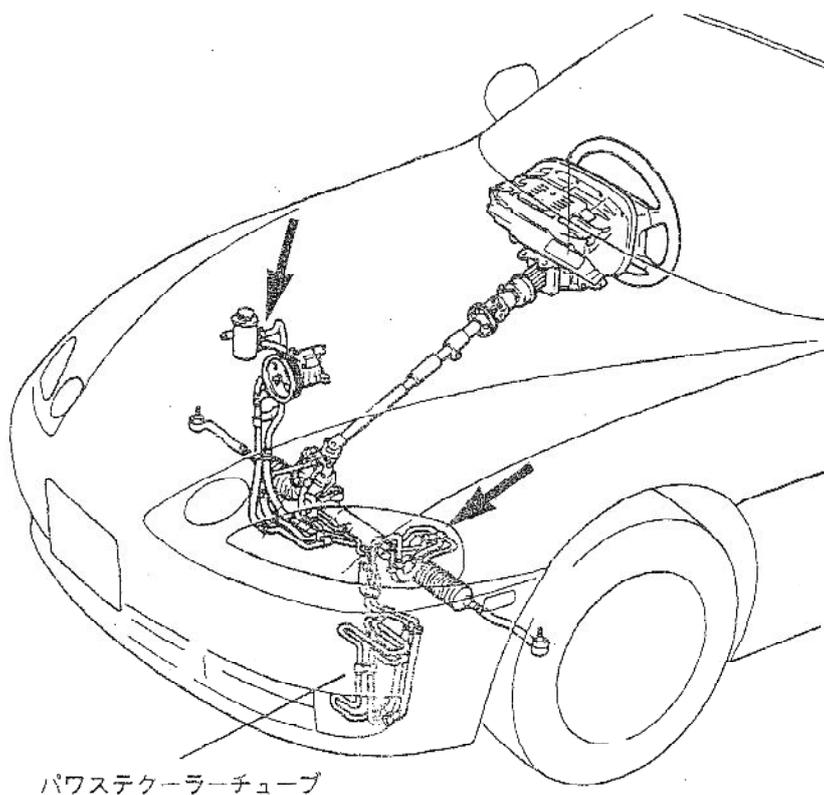
1. ラジエターリザーバータンク取り外し

- (1) ラジエターリザーバータンク及びステーを取り外す。
- (2) リザーバータンク下側のダクトカバー外し、外気センサーを取り外す。



2. パワステクーラーチューブ取り外し

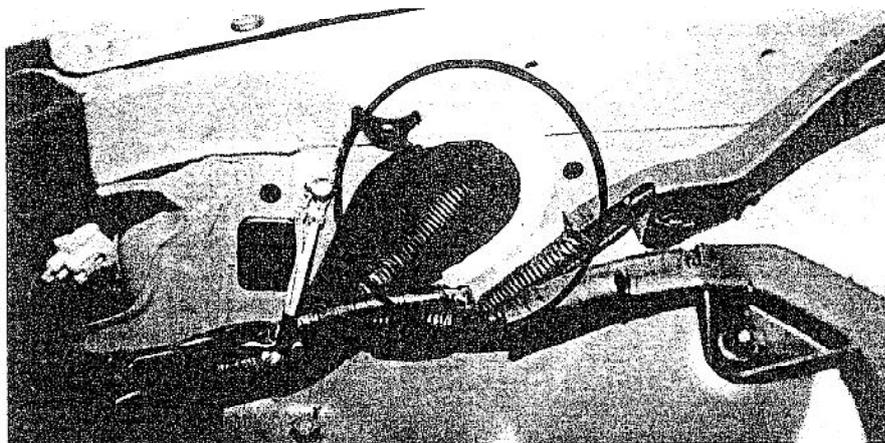
- (1) パワステフルードを抜き取る。
- (2) 図中矢印部よりクーラーチューブを取り外す。  
(車両側パワステラインにメクラをし、フリーの状態にしておく。)



## <KITパーツ取り付け>

### 1. ボディー加工

下図○部中白色部分をカット加工して下さい。



**注意** 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して安全に作業して下さい。

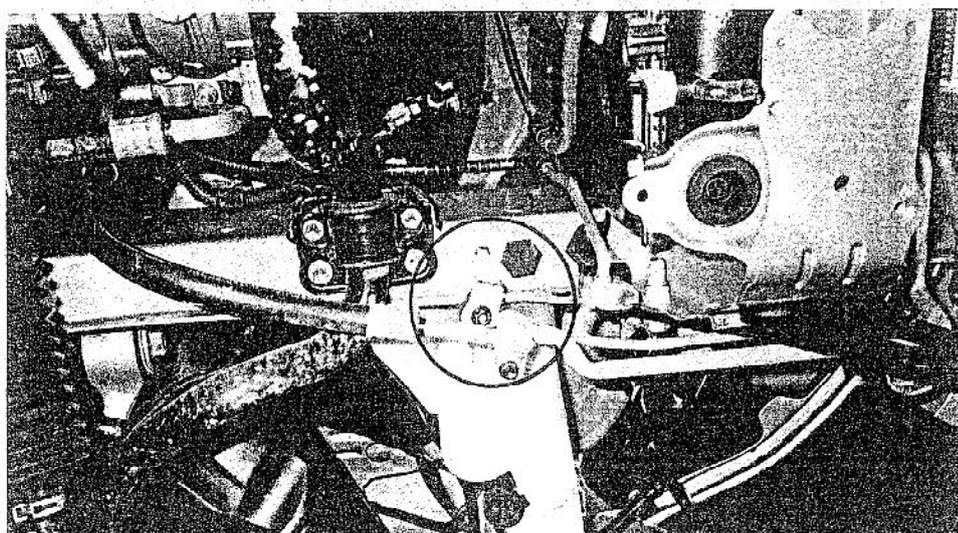
※インターパイプφ70No.1を通す為、若干大きめに穴を開けて下さい。

※加工部には塗装を施し錆の防止につとめて下さい。

### 2. エアコンチューブ移動

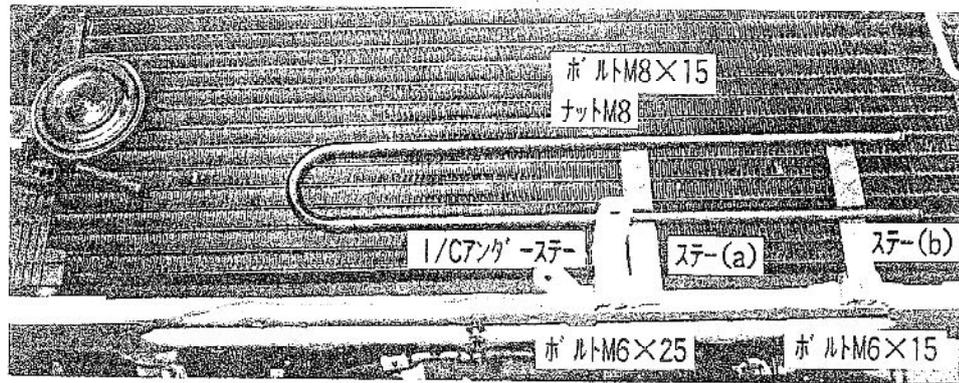
KIT内エアコンチューブステーを使用して、下図の様にエアコンチューブを移動して下さい。

※ボルト及びナットはノーマル（純正品）を再使用して下さい。



### 3. パワステクーラー取付

KIT内パワステクーラーをステー(a)・(b)を使用して、エアコンコンデンサー手前に取り付けて下さい。



注1) パワステクーラーステー(a)は、I/Cアンダーステーと共締めしボディー側に仮止めして下さい。

注2) パワステクーラーへの配管は、KIT内のホースφ10及びクランプ(φ10用)4個を使用して配管して下さい。

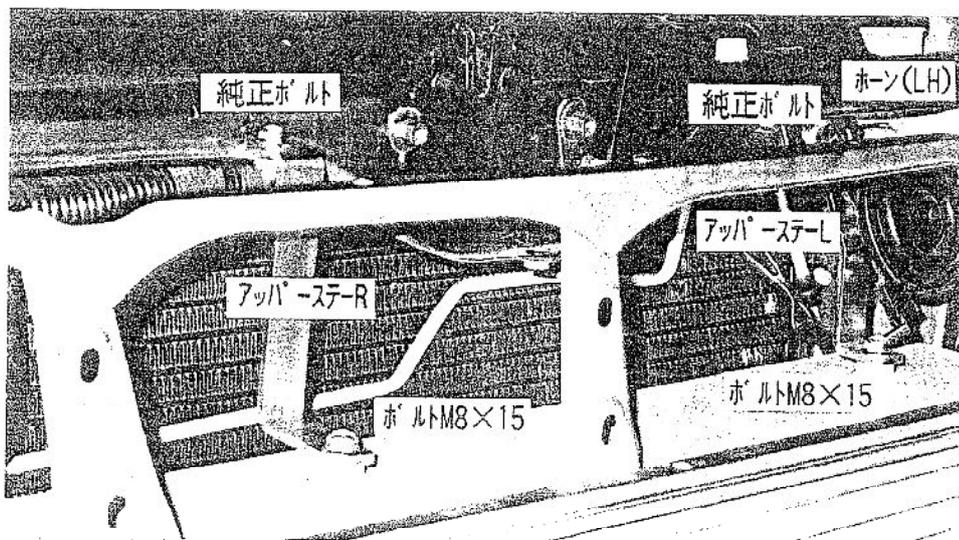
注3) ホースは適当な長さにカットして、捻じれやボディーとの干渉に注意しながら必要に応じて付属のタイラップ等で固定して下さい。

### 4. インタークーラー本体取り付け

①KIT内I/Cアップーステー(R/L)を使用して、下図の様にインタークーラー本体を仮止めして下さい。

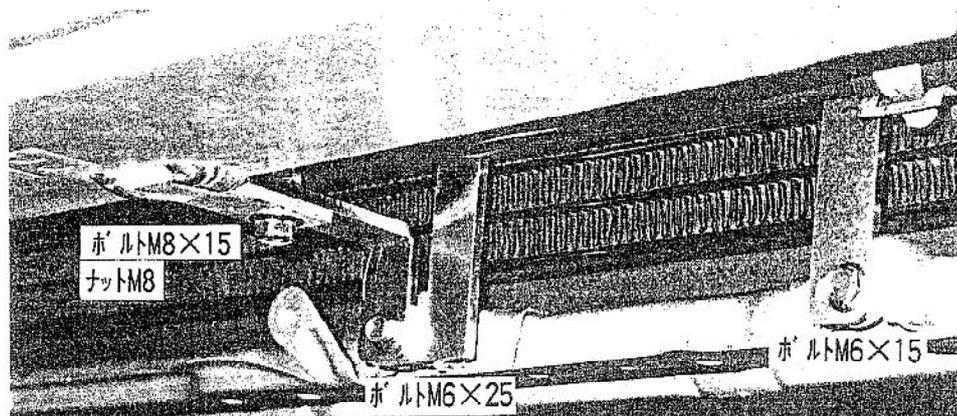
※アップーステー(L)に純正ホーン(LH)を共締めして下さい。

※ヘッドライト取り付けの際、ホーンが邪魔にならない様ホーンを調節して下さい。



②KIT内I/Cアンダーステーを、パワステクーラーステー(a)と共締めし、インタークーラー本体と仮止めして下さい。

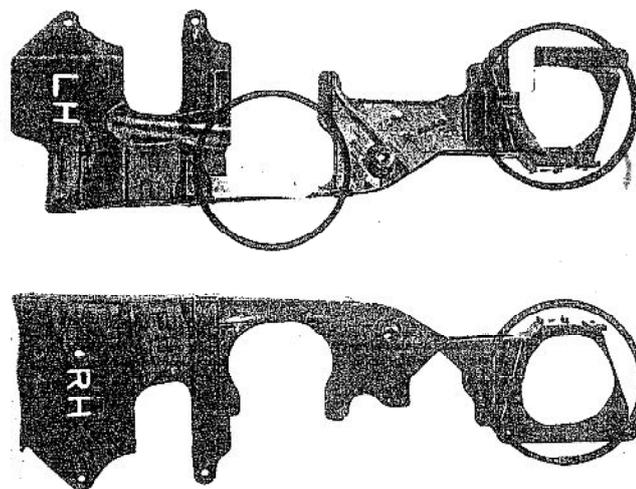
※インタークーラー本体が水平になる様に調節して、固定して下さい。



#### 5. エンジンアンダーNo4カバー(RH/LH)加工

下図白色部分を参考に、エンジンアンダーNo4カバー(RH/LH)を、カット加工して装着して下さい。

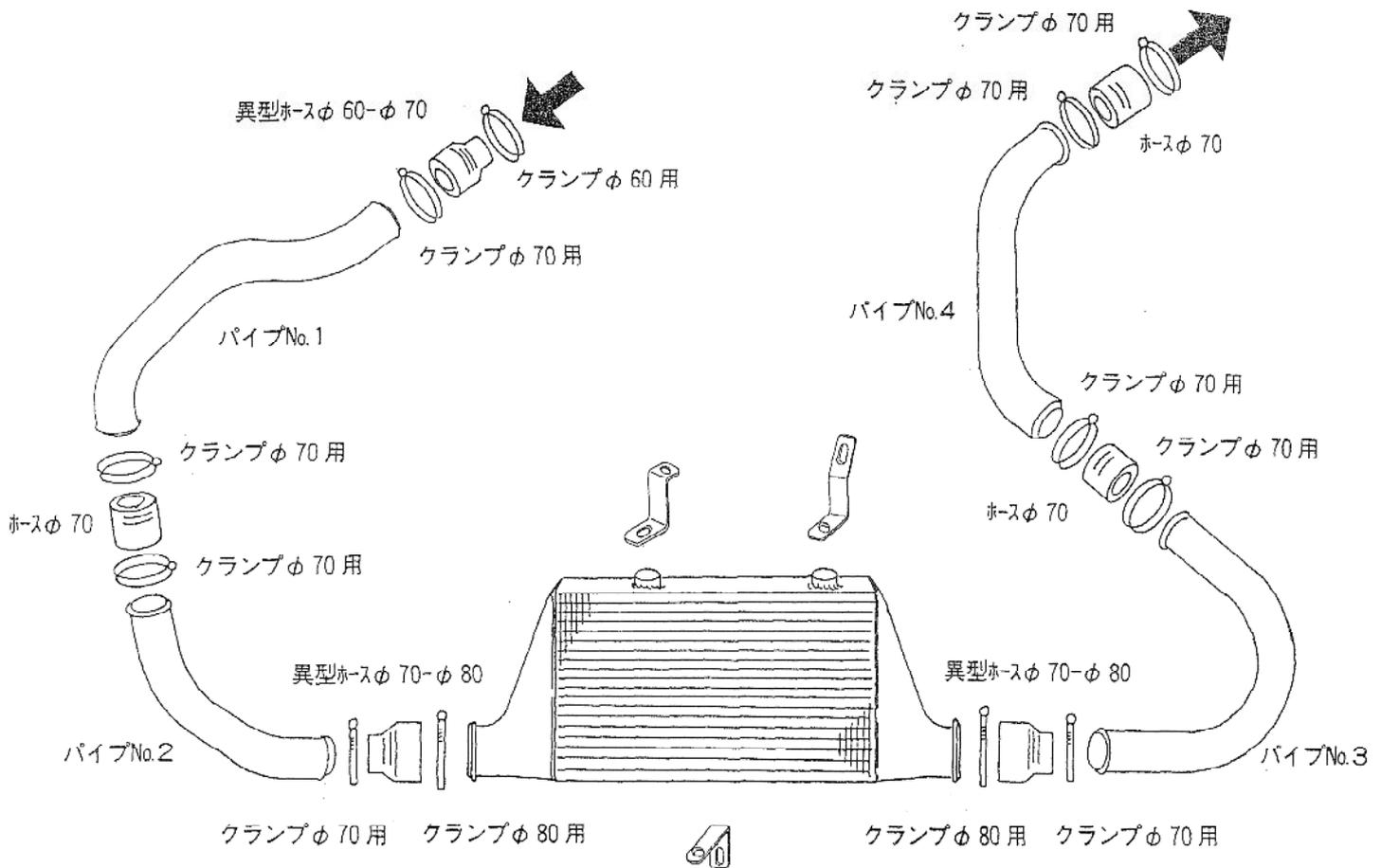
※ I/Cサイドタンク部には、インテークパイプとの接続の為にシリコンホースが被さるので、カットする穴を若干大きめに開けて下さい。



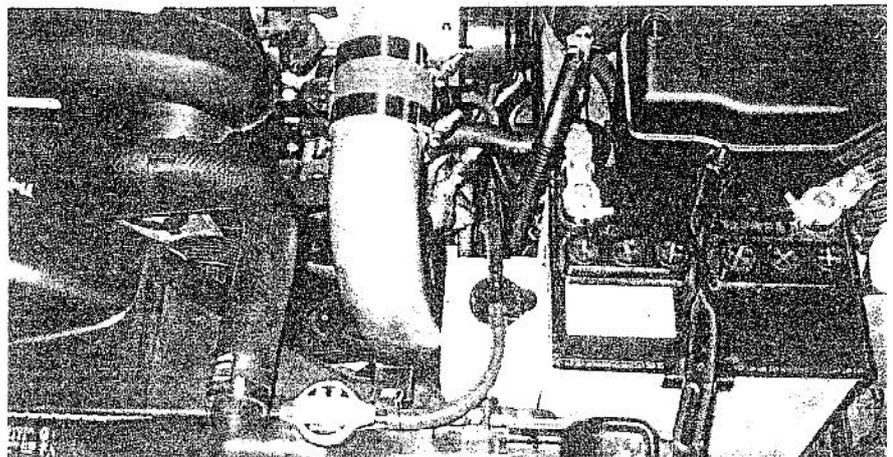
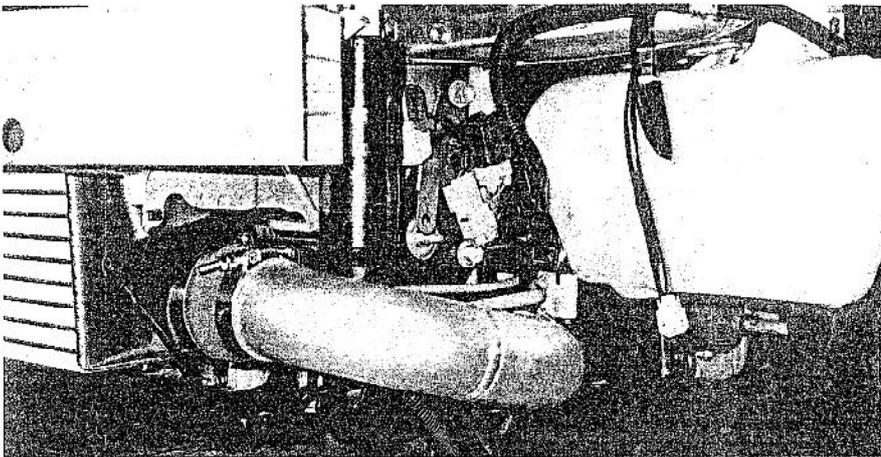
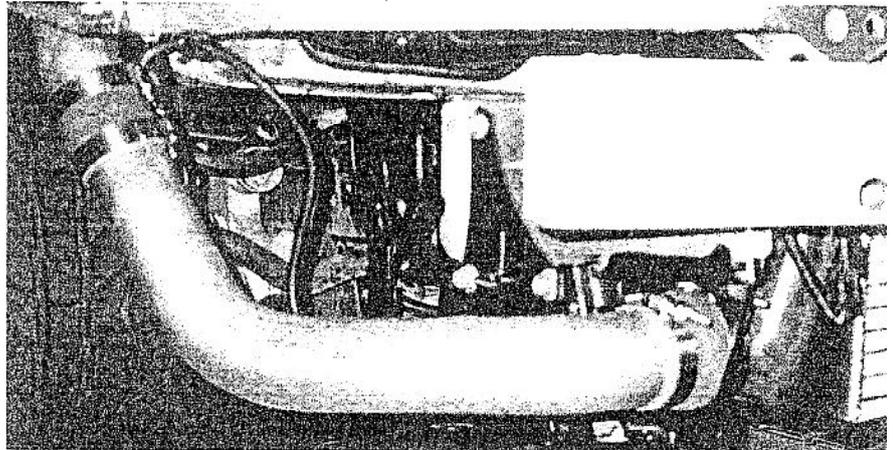
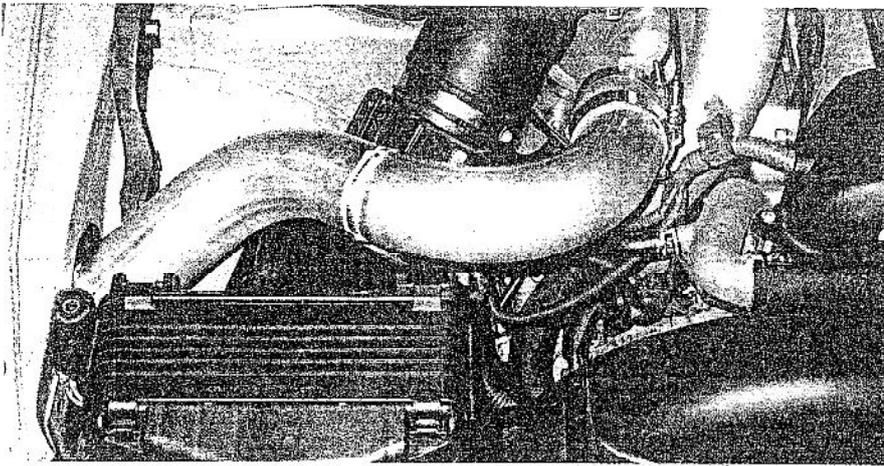
**注意** 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して安全に作業して下さい。

## 6. インテークパイプの配管

KIT内パイプφ70(No.1~No.4)を、各サイズ'のクランプとホースを使用して、下図の様に配管してください。尚、各パイプにはパイプNo.と方向を記したステッカーが貼られています。



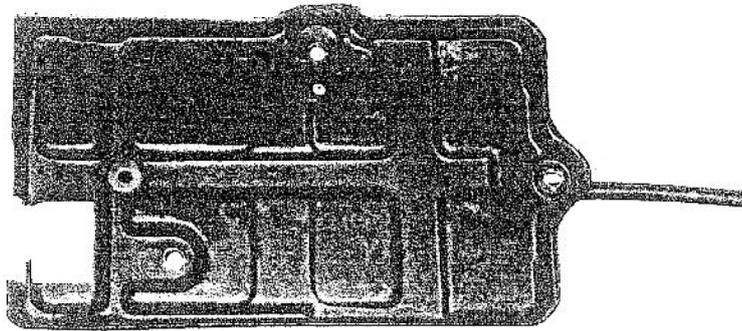
- 注1) 各インテークパイプが、ボディ・A/Cチューブ・バクスターホース等に干渉しないように調節してください。特にNo.4のパイプは、ファンベルトや電動ファンとのクリアランスに注意してください。
- 注2) パイプNo.3はエアフィルタータンクに近い為、車両によってはレシーバータンクのステーを曲げてクリアランスを作ってください。
- 注3) 純正のエアクリーナーBOXを使用する場合は、パイプNo.1(φ70)を配管する前に仮止めして下さい。



## 7. ラジエターリザーバータンク取り付け

(1) バッテリートレイを取り外し、下図白色部をカット加工して下さい。

**注意** 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。



(2) KIT付属のリザーバータンクステーをバッテリートレイの下側に共締めし、固定して下さい。(ノーマルボルト再使用)

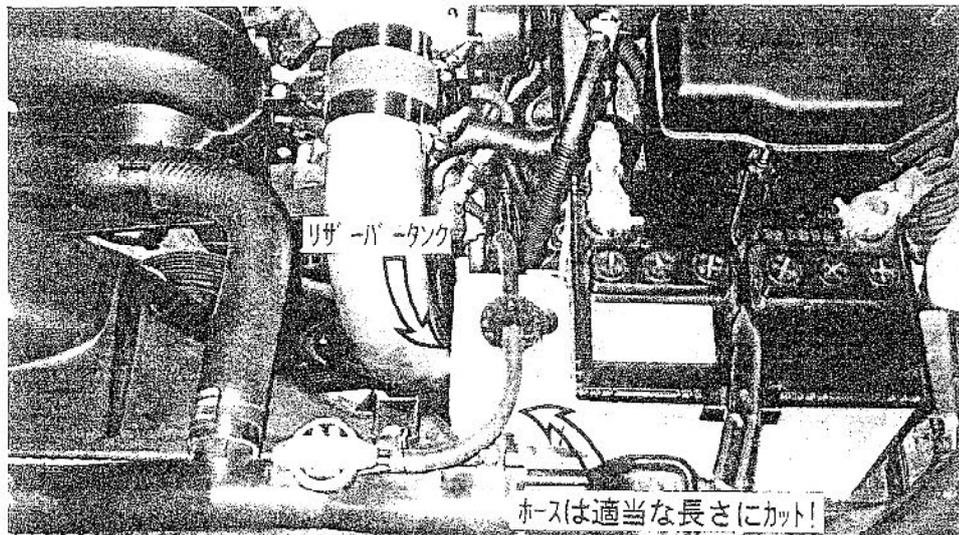
(3) KIT付属のリザーバータンクをステーに差し込み、バッテリーを取り付けて下さい。

※バッテリーカバーは取外して下さい。

※バッテリーがバッテリートレイに納まる様に、ステーの取り付け位置を調整して下さい。

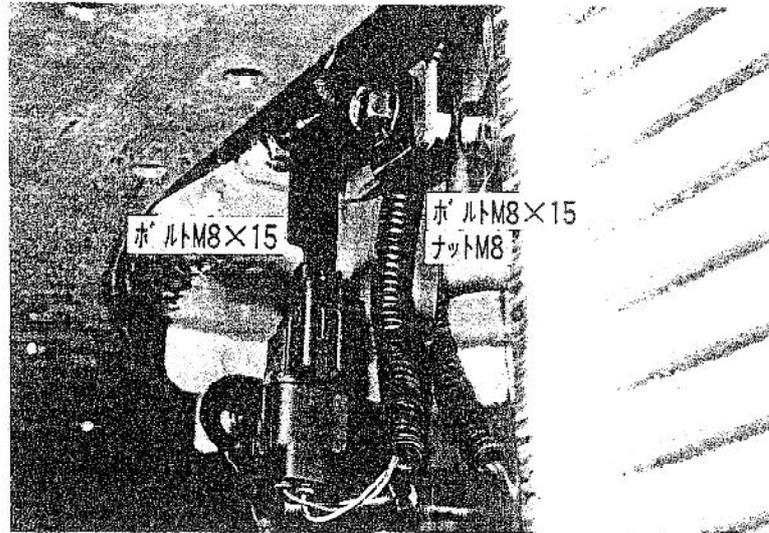
※バッテリー(+)端子の接続は最後に行ってください。

(4) リザーバータンクのホースを適当な長さにカットしてラジエターに接続して下さい。



## 8. 外気センサー移動

取り外した外気センサーをKIT付属の外気センサーステー・ボルト（M8×15）2個・ナット（M8）1個を使用して、右フレーム脇（アルミ製ラインホースメント裏）に固定して下さい。



## 9. フロントバンパーの取り付け

ノーマルのボルト・ナットを使用して、取り外した時と逆の手順でフロントバンパーを取り付けて下さい。

## 10. ヘッドランプASSY(RH/LH)を取り付けてください。

※コネクターを取り付けて下さい。

## 11. エンジンの始動に当たって

必ず換気の良い場所で行ってください。

各配管を点検して、バッテリーの（－）端子を接続し、エンジンを始動して下さい。  
また、パワステフルードの補充及びエア抜きを同時に行ってください。  
各接続部分のエア漏れ、オイル漏れ、干渉等がないかアイドル状態で点検して下さい。

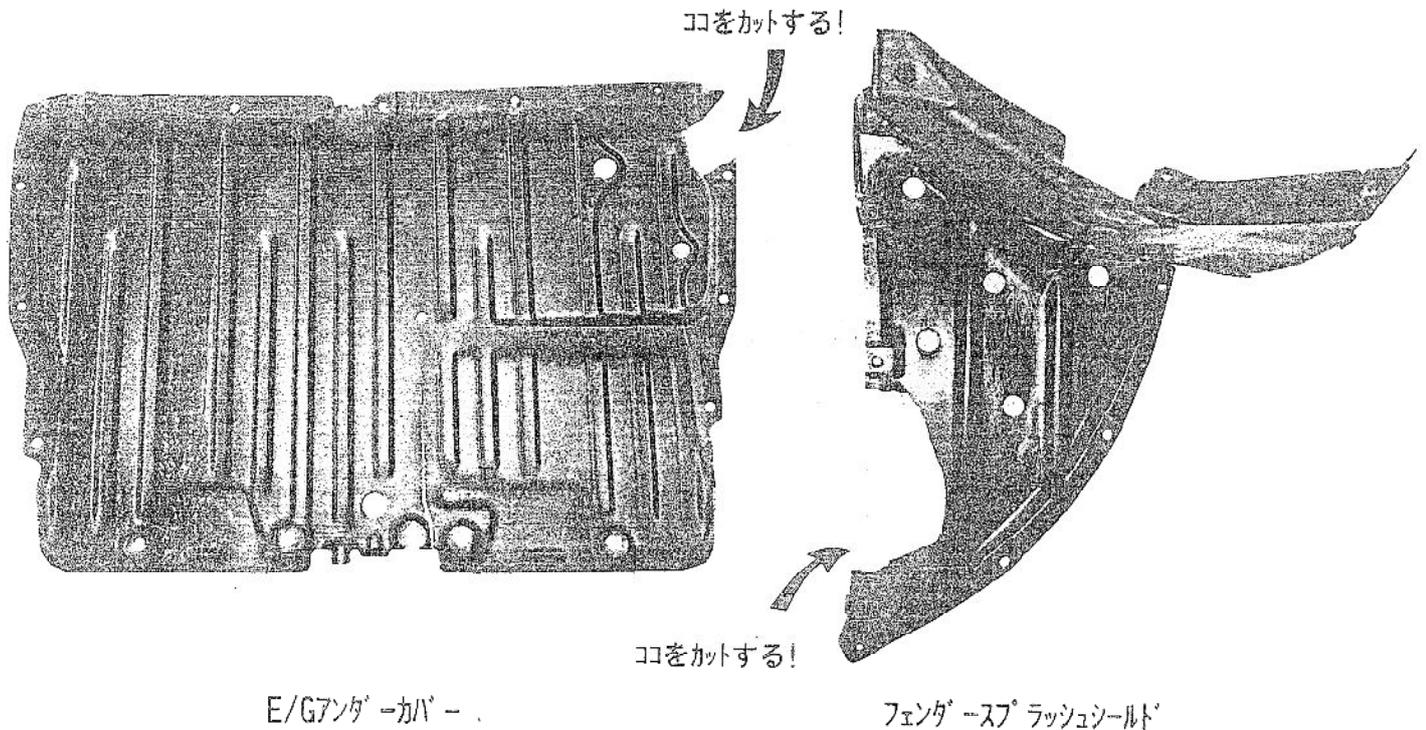
## 12. 【パワーステアリングのエア抜き】

- (1) 車輛をリフトアップする。
- (2) エンジン停止時で、ステアリングホイールのロックツウロックをゆっくり数回行う。  
注意 オイルゲージのフルードがなくならないように補充しながら行う。
- (3) リフトダウンする。
- (4) フットペダルを踏まずにエンジンを始動して、数分放置する。
- (5) エンジン回転数1000rpm以下で、ステアリングホイールのロックツウロックを数回繰り返す。  
注意 ステアリングホイールをいっぱい切った状態で、10秒以上保持しない。
- (6) オイルゲージの口から、フルードの泡立ち及び白濁がないことを点検する。
- (7) (6)の点検結果が不良の場合は、オイルゲージの口から、フルードの泡立ちおよび白濁が消えるまでエンジンを停止して放置したあと、(4)～(5)の作業を行う。  
効果がない場合は、油圧系統のフルード漏れの点検を行う。
- (8) エンジンを停止する。

### 13. エンジンアンダーカバー取り付け

点検終了後フェンダースブラッシュシールド及びエンジンアンダーカバーを取り付けて下さい。

注意1) パワステオイルクーラーの配管が干渉してアンダーカバー等の取り付けが困難な場合があります。下図の白色部を参考に干渉する部分を最小限切り取って取り付けして下さい。



**注意** 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。

注意2) 各ランプの作動点検及び、ヘッドライトの光軸調整をして下さい。

以上でKITの取り付けは終了です

■ テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか確認し、もし不具合のある場合は、もう一度取扱説明書をよく読み各部のチェックを行って下さい。

**BLITZ**